

## 情報公開文書

研究の名称	病的新生児の治療介入と予後を解析する観察研究
整理番号	R2019038
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	吉田 丈俊
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2000年から2026年までの間に当院の周産母子センターに入院し、治療を受けた新生児。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 近年の新生児医療の進歩により、新生児期より集中治療を必要とする病的新生児の生命予後は、超低出生体重児を含め改善しています。しかし近年の低出生体重児の増加に伴い、加療を必要とする病的新生児の割合はむしろ増加し、後遺症を有する児も多く、長期的な予後については不明な点が多いのが現状です。治療についてもエビデンスに基づくガイドラインは未だ少なく、施設間の差も大きいです。本研究では、実地臨床における診療データより周産期情報、加療方法、予後因子の解析を行うことで新生児診療のさらなる進歩に貢献することを目的とします。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 診療録より周産期情報、加療方法、予後因子について情報収集し、統計解析を行います。一部の方について、診療時の残余血清を用いた血液検査の解析も行います。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2019年7月16日から2026年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 周産期または小児科に関連した学会、医学雑誌にて結果を発表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>研究に用いる情報には以下の項目を含めます。 母体情報、母体加療内容、羊水・胎盤情報、臍帯血データ、在胎週数、出生時身体計測値、Apgar score、周産母子センター入院中の加療内容・血液検査・画像検査・生理学検査情報、入院中の身体計測値、合併症、転帰、フォローアップ時の身体計測値・血液検査・画像検査・生理学的検査情報・知能検査 試料には診療時の残余血清を用い、測定項目にはカフェイン等の薬物血中濃度、骨代謝マーカー、腎障害マーカー、血中サイトカイン濃度等を含みます。 なお、他機関への情報提供、試料の提供は行いません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 周産母子センター長 吉田丈俊
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	吉田丈俊
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7313 FAX 076-434-5029 担当者所属・氏名 富山大学周産母子センター 猪又智実</p>

